

活動事例

● KURIYAMA ORIGINAL PROJECT

- ✓ 地域おこし協力隊制度を活用した起業家育成及び関係人口創出事業として、地方で自身の夢に挑戦したい若者の支援と地域課題解決との相乗効果を目指す、事業提案型（フリーミッション）地域おこし協力隊。
- ✓ 段階的な応募者の掘り起こしとして、2021(令和3)年度に「おためし地域おこし協力隊」を実施。隊員OB・OGのコーディネートにより、2泊3日でフィールドワークと町への事業提案を行う内容で大学生2名が参加。うち1名が「栗山町産材を活用したフードトラックによる地域PR・交流創出事業」を実践するため本申請に応募。審査を経て採用を決定し、2022(令和4)年4月に委託。

※応募者は大学ゼミ活動として2019年度に栗山町を来訪し、職員や協力隊、地域関係者との交流も行った経過があったほか、卒業後の進路として自身の夢であったカフェ起業を志望していた。

- ✓ 活動にあたり担当職員と協議のうえ、スイーツの商品開発やブランディングなどの実績がある起業コンサルタントに協力を依頼。現地・オンライン指導によりマーケティングやブランディングなど経営に必要な専門スキルを学び、フードトラックでの店舗経営を目指すこととなった。

※以降、任期中の3年間にわたり指導を受け磨き上げ。



活動事例

● KURIYAMA ORIGINAL PROJECT

- ✓ 1年目にビジネスプランを作成して起業準備を進め、2年目を迎えた2023(令和5)年4月、栗山町の素材を使用したスイーツでお客様・地域・生産者・スタッフ、関わった人たちが笑顔になって帰ってもらうことをコンセプトに、クレープをメインとしたフードトラック「SmileBack Foodtruck」を開業。
- ✓ このほか、行政からの地域協力活動にも積極的に参加し、学生のフィールドワークアテンド、道内外物産展での特産品PR、ワークショップ講師（親子向けクレープづくり体験）などを行った。
- ✓ 任期終了後も引き続き栗山町に定住し、フードトラックでの営業や地域協力活動を行いながら、町内外の多くの人たちに栗山町の魅力発信と関係人口づくりに貢献。自身のブランディングも高めながら、将来は国内・国外でのカフェ経営を夢に活動が続けている。

